

# ハウス白カブ栽培の 安定生産技術の習得と出荷量の拡大

湖東農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

ハウス白カブは平成 28 年に湖東地域の重点園芸品目に指定され、土地利用型農家や集落営農組織における冬期の収入源や仕事づくりとして生産が行われています。重点園芸品目に指定された当時は約 16 名が生産されていましたが、近年は生産者数・出荷数とも減少傾向にあり、令和 3 年度の生産者数は 9 名で市場へのお荷数は 13,500 玉でした。そこで令和 4 年度からハウス白カブの安定生産技術の習得とお荷数の増加を目的に、既存生産者の栽培技術向上に向けた支援と新規生産者の掘り起こしを行いました。

## 【普及活動の内容】

### (1)栽培技術習得支援

白カブは 10 月からは種が行われ、11 月下旬頃から収穫が始まります。そこで、7 月に栽培研修会を開催し、栽培のポイントや土づくり等について説明しました。また、は種前にはJA東びわこと連携してハウスの土壌診断を行い、ハウスごとに施肥設計をしました。さらに、栽培期間中はハウスを巡回し、生産者とともに生育状況や病虫害の発生状況を確認し、栽培技術習得を支援しました。



写真1 白カブ栽培の様子

### (2)新規生産者の掘り起こし

JAとともに、栽培に興味を持っている生産者に声掛けを行いました。また、管内の蔬菜園芸組合や集落営農組織の研修会において白カブ栽培を紹介し、生産者を募りました。

## 【普及活動の成果】

令和 5 年度のお荷数は 10,171 玉であり、令和 3 年度よりもお荷量を拡大することはできませんでした。しかし、活動を行った 2 年間で、新たに 4 名が栽培を開始されました。また、お荷数がこれまでよりも向上した生産者もあり、湖東の白カブ生産の盛り上がりお期待できます。他産地は露地栽培が多いですが、湖東地域は施設栽培のため、市場からは外観が綺麗で品質が良いと好評を得ています。白カブが各経営体における経営の一品目として高お荷量を確保でき、さらに、湖東地域としても産地として成長できるよう今後も生産を支援していきます。

### ◎対象者の意見

栽培研修会で前年作の反省点を振り返り、それを生かして栽培することができました。今後も引き続き支援をお願いしたいです。(生産者 A)

今後湖東地域で白カブ生産者が増え、安定したお荷体制を構築していきたいです。(生産者 B)